

一般質問



金井田 議員

○県道158号鷹島線整備の進捗状況について

質 県道158号鷹島線の整備が完了しなければ、次に控える県道整備にも支障をきたします。これは鷹島だけの問題ではなく市全体の道路戦略に関わる問題です。一本の未完了事業が次の未来を止めてはなりません。本路線の用地買収は完了しているか伺います。

建設課長 県に用地取得状況を確認しましたが進捗率は約96%で、約1700平方メートルが未取得であり、その理由は、相続人が多数であることや外国在住者がおり、現時点では用地取得の完了の見通しが立っていない状況であると伺っています。

質 完成の見通しが明確に立たない現状が、地域や市全体にどのような影響を及ぼしているとお考えか伺います。

建設課長 この県道を主に利用する鷹島町船唐津地区の住民の皆さまにとっては、現在通行している既存県道において急カーブが連続し、幅員狭小部があることから、安全な通行に影響があると考えています。また、同路線の次期改良要望箇所の事

業化にも影響があると考えています。

○松浦市内及び近郊の斎場の状況について

質 市が管理する松浦斎苑および福島斎苑が、これからも持続可能な形で整備され、時代の変化に対応できる体制として守り続けられることを心から望みます。両斎場は単なる施設ではなく、市民が最後の「ありがとう」を伝える場所であり、行政が人の尊厳を守る場所であります。本市が「人の尊厳を最後まで守るまち」であり続けるために、行政と議会がともに知恵を出し合い、制度を整え、未来への備えを築いていくことが、次の世代に誇れる本市の姿であると、私は確信しています。

市長 両斎場の今後の維持管理について伺います。

市長 松浦斎苑と福島斎苑の火葬場については、火葬業務に支障が出ないよう維持補修を行いながら、施設の使用継続を図ることを基本とし、その管理については、指定管理者において適正に運営が行われているものと考えています。

今後とも指定管理者や市民の皆さまからの声に耳を傾け、施設の利便性の向上に向けた施策の検討に加え、施設が延命化できるよう必要な修繕を行いながら維持管理に努めていきたいと考えています。

常任委員会の審査概要

総務建設農水委員会

〔議案第8号〕松浦市定住促進住宅条例の一部改正について

市内への転入促進を目的とした家賃の減額措置で、市外に3年以上居住されていた方が転入し定住促進住宅に入居された場合の3年間、階数に応じた家賃の減額措置をするもので、本制度が令和7年度末で期限を迎えるため、実施期間の延長を行うとともに、人材確保の観点から公務員に係る適用除外を見直し、対象に含める改正であり、妥当と認めました。

〔議案第40号〕松浦市過疎地域持続的発展計画の策定について

過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づき、令和8年度から令和12年度までの後期計画を策定するもので、国の支援制度を活用するための計画であるとの説明がありました。計画過疎対策事業債の発行については、今回の事業計画に記載があることが要件になっているため、今計画には現時点で可能性のある事業を全て記載しているのとこのとであり、妥当と認めました。

〔議案第26号〕令和8年度松浦市一般

般会計予算（関係分）について

○本庁舎大規模改修工事4億7915万円については、本庁舎の長寿命化を図るため、耐震化、空調機器および不具合箇所の改修を行うものであり、耐震補強の工法は、SRF工法を採用し、本庁舎の柱77本を耐震補強することとした。SRF工法の特徴として、業務をしながら工事が可能で、工期の短縮が図られるとのことでした。空調改修では、空調機器の取り換え修繕、衛生設備改修では、小水器自動水酸化、多目的トイレのリニューアルなどトイレの改修、その他に雨漏り樋改修、手すり改修、窓の建具を一部改修するとの説明があり、妥当と認めました。

委員からは、市内の業者が受注できるようにしてほしいと要望がありました。

○防犯灯改修支援事業費補助金2230万円については、自治会が所有する防犯灯をLED灯に改修する費用に対する補助で、防犯灯のうち蛍光灯数892灯について、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、自治会への支援を行うものと説明がありました。

以上、事業実施に必要な経費であり妥当と認めました。